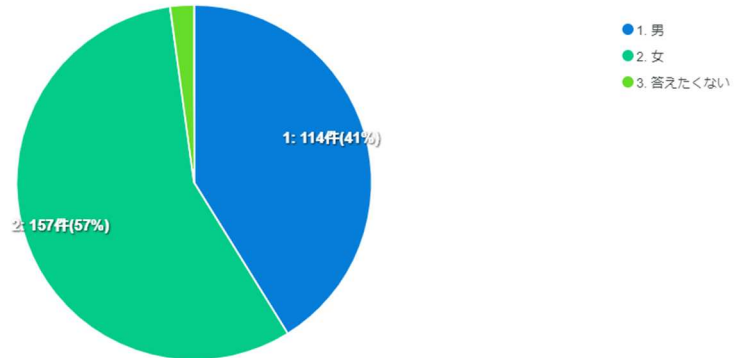
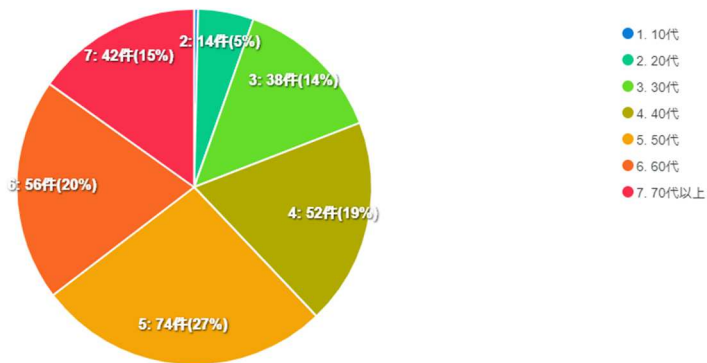


R8 男女共同参画に関するアンケート（回答数 277 件）

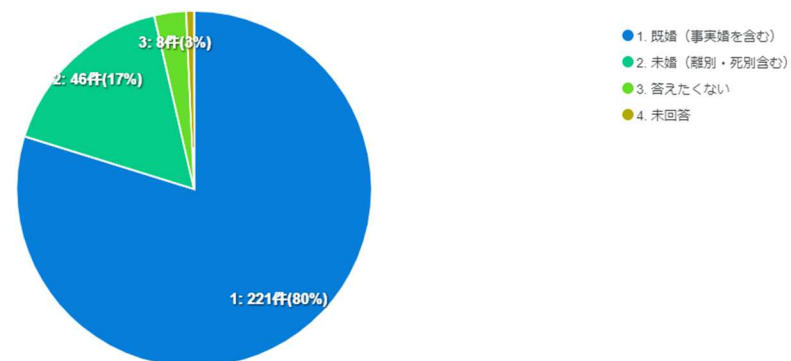
1 あなたの性別を教えてください



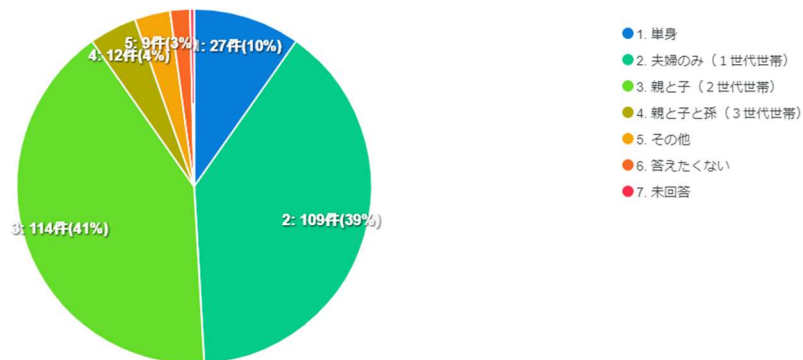
2 あなたの年代を教えてください



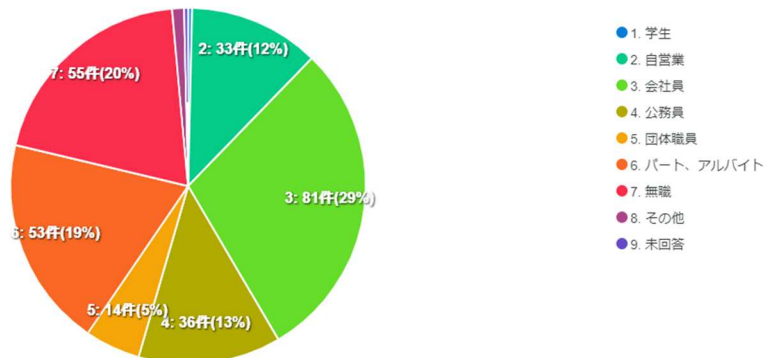
3 あなたの婚姻状況を教えてください



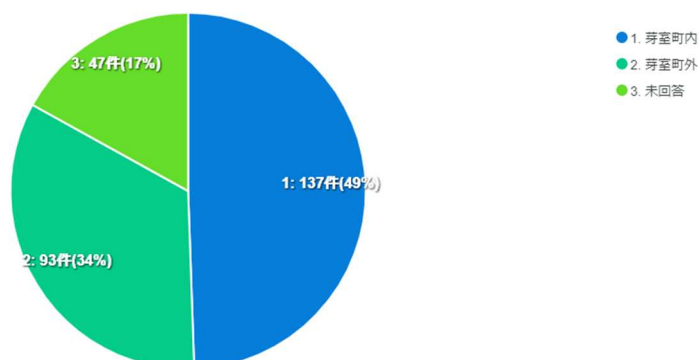
4 あなたの家族構成を教えてください



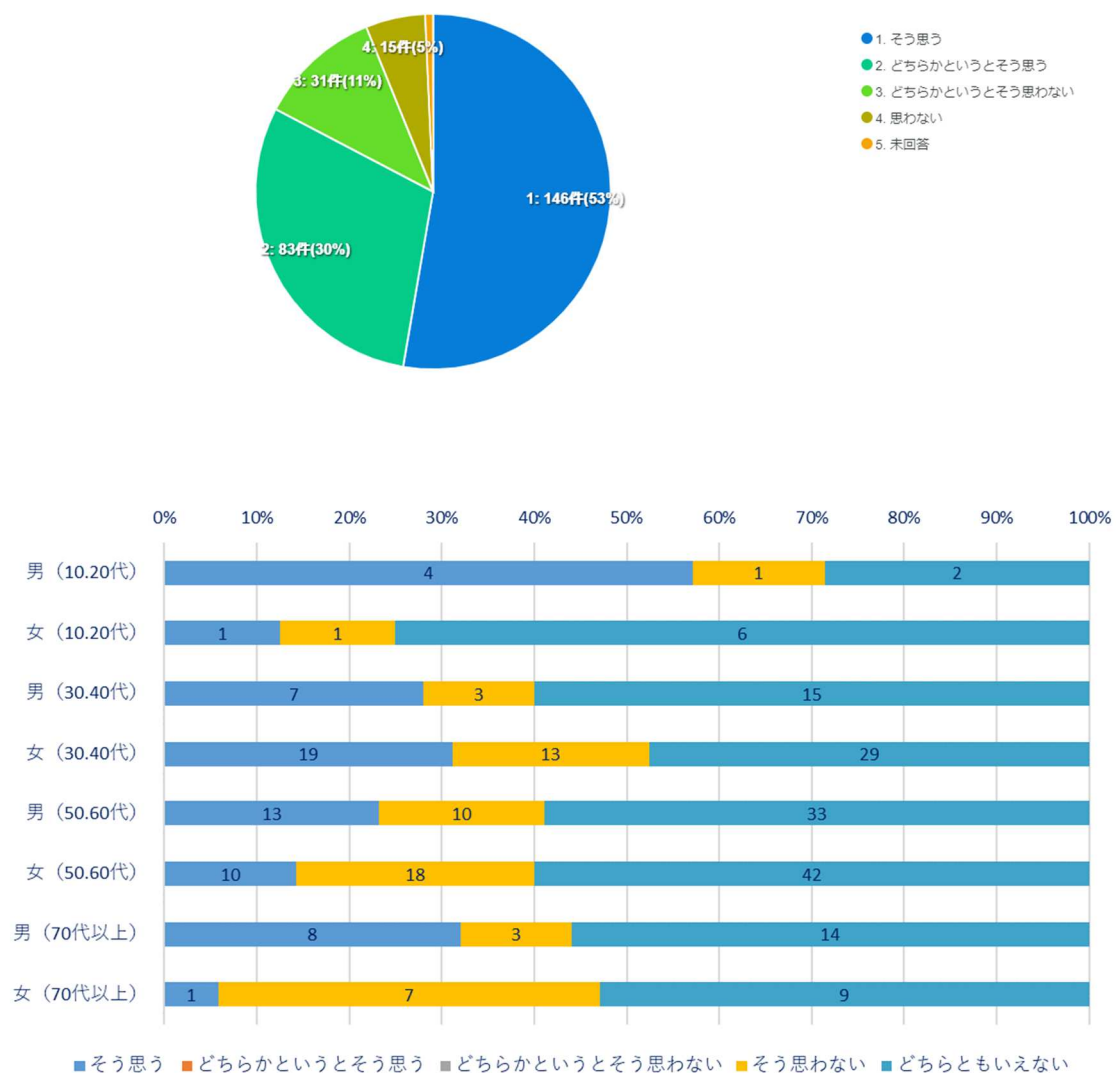
5 あなたの職業を教えてください



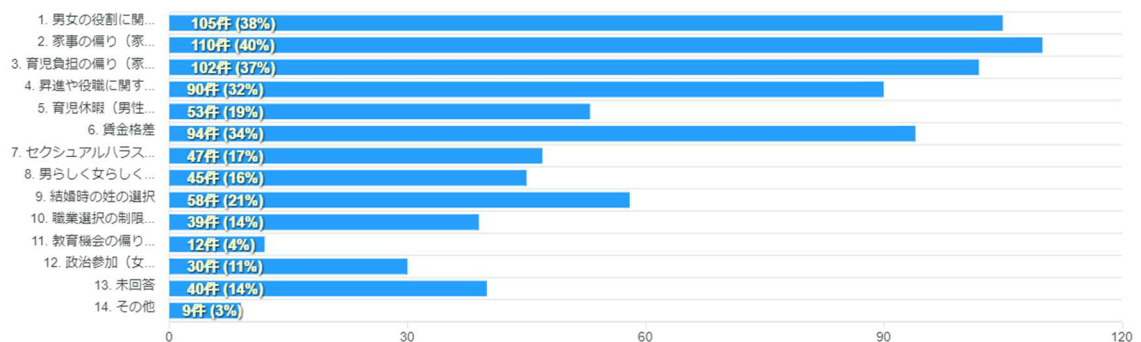
6 あなたの就業先（勤務先）を教えてください



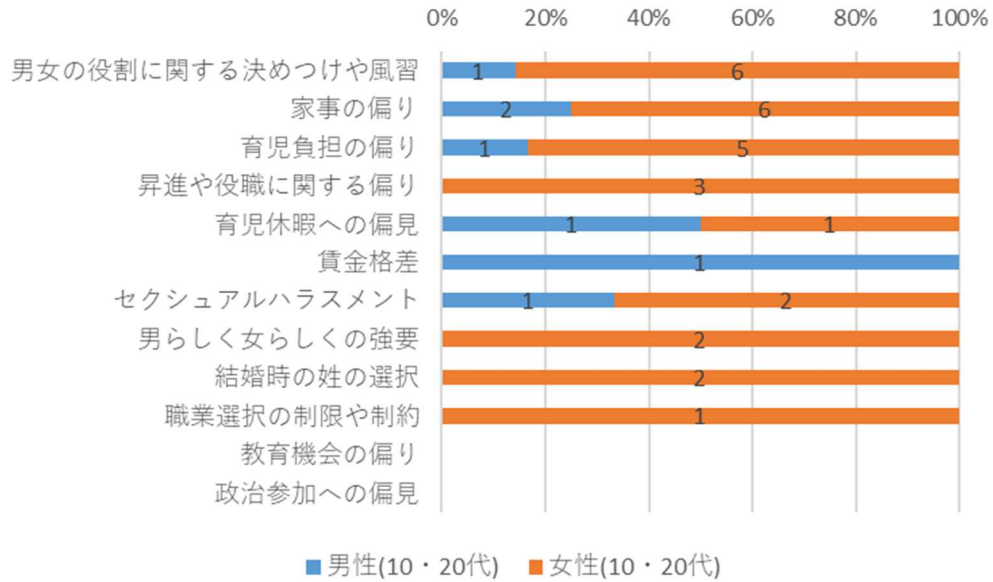
7 芽室町は男女平等の社会だと思いますか？



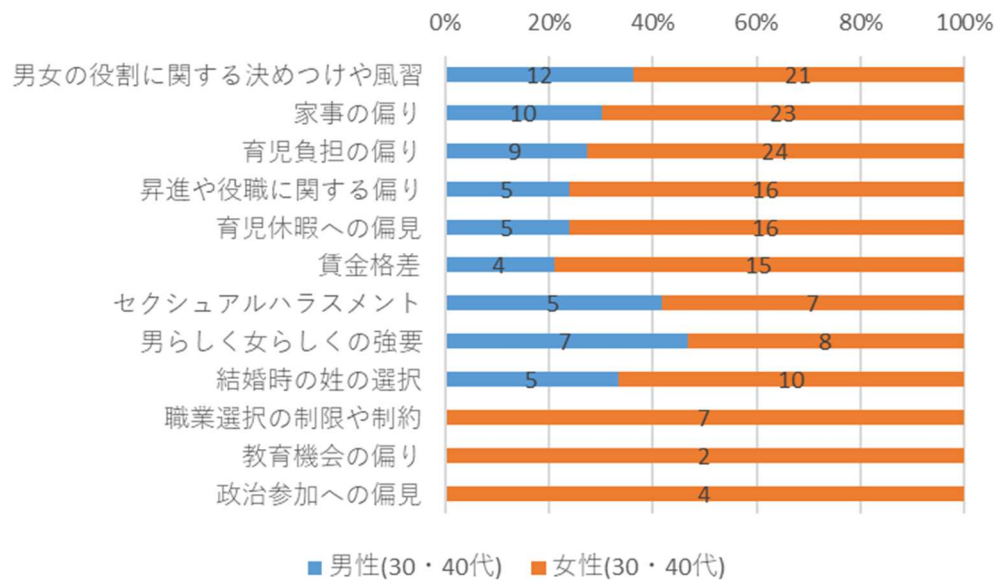
8 次の選択肢において男女での偏りなど、あなたがこれまで芽室町内で意識したことがあるものをすべてお答えください（複数回答）



10代・20代

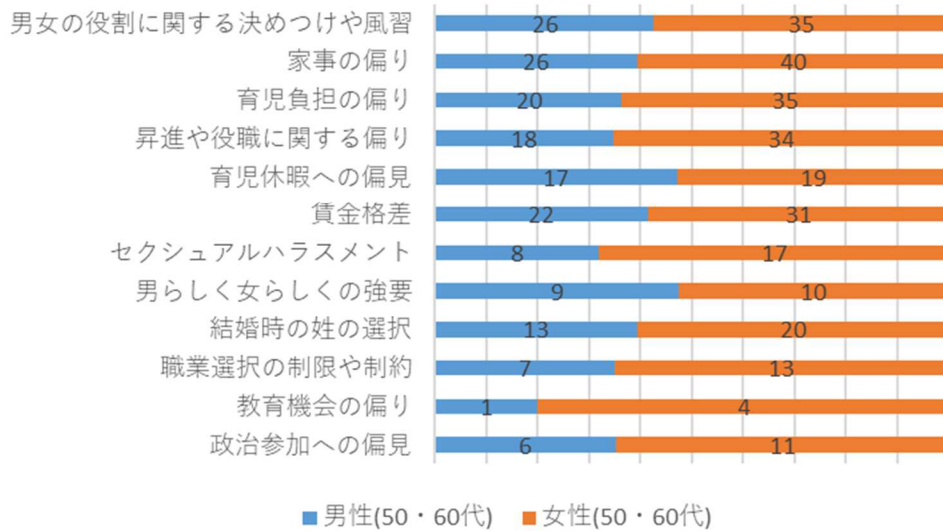


30代・40代



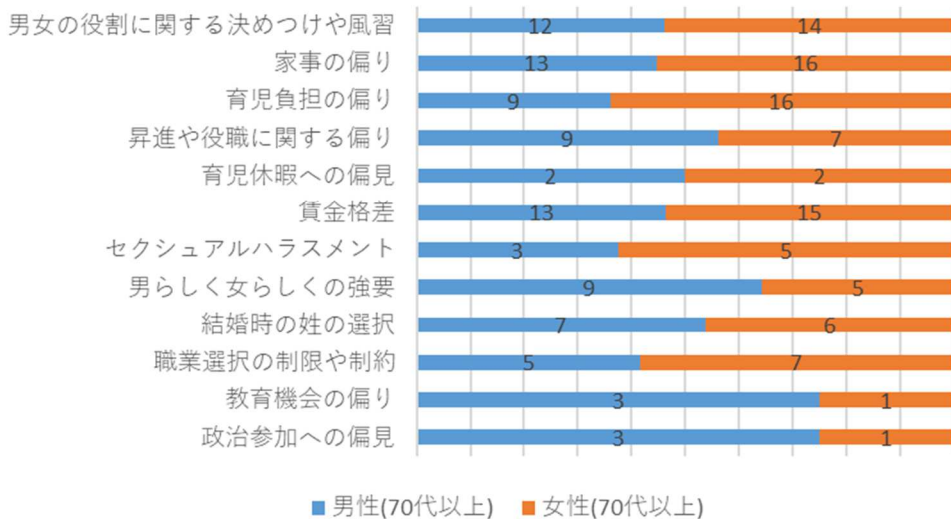
50代・60代

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



70代以上

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

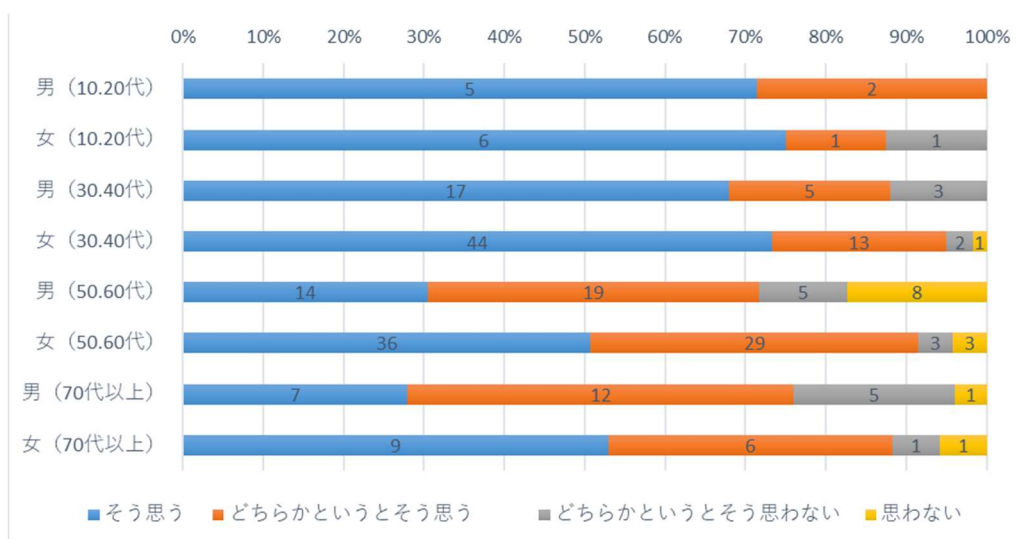
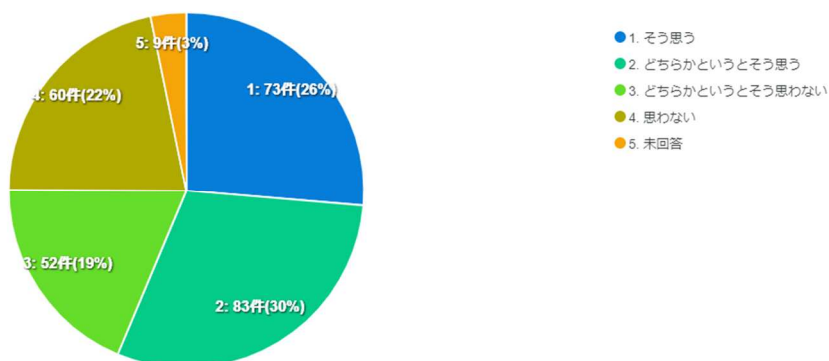


その他意見

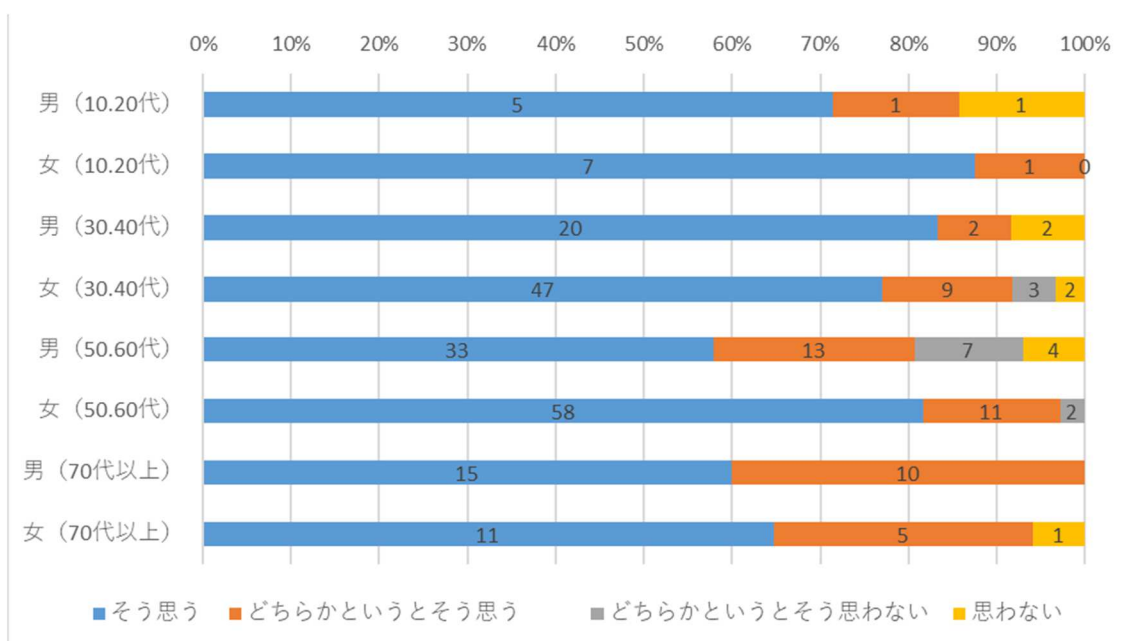
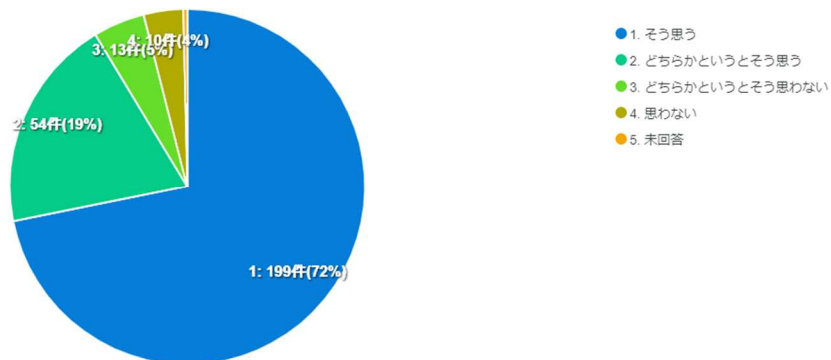
- ・偏見。町外の人への圧力、見下し等おかしい考えの人が多く感じる
- ・男女という面で福祉や病院との繋がりの中で訪問者・ヘルパーさんは女性が多い。平等とはいっても男性には男性ヘルパーの方がいい人もいるのでは？内容によっては男性のほうが安心な面もあるような気もする。男性が苦手な方も居るし女性が苦手な男性が居てもおかしくないかな？と思う
- ・農協や生産組合の役員が男ばかり
- ・昼の用意で、男性は手伝わない
- ・学校行事や少年団活動への男性の参加率が低い。町内会で男性が役員、女性がお手伝いしている印象
- ・身体の造りが違うのに、比べるのが可笑しい

9 仕事や働き方について、あなたの考えに最も当てはまるものを1つずつお選びください。

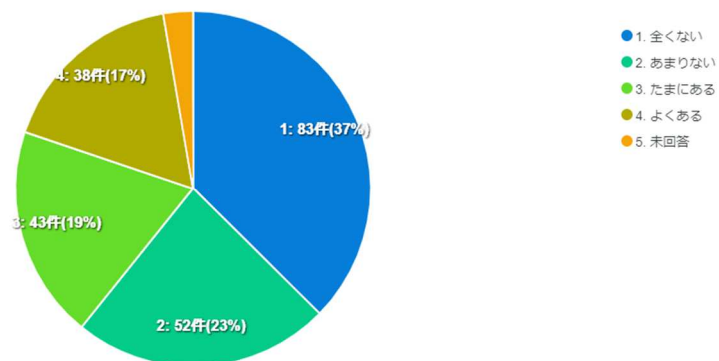
① 経営者に男女の向き不向きはない

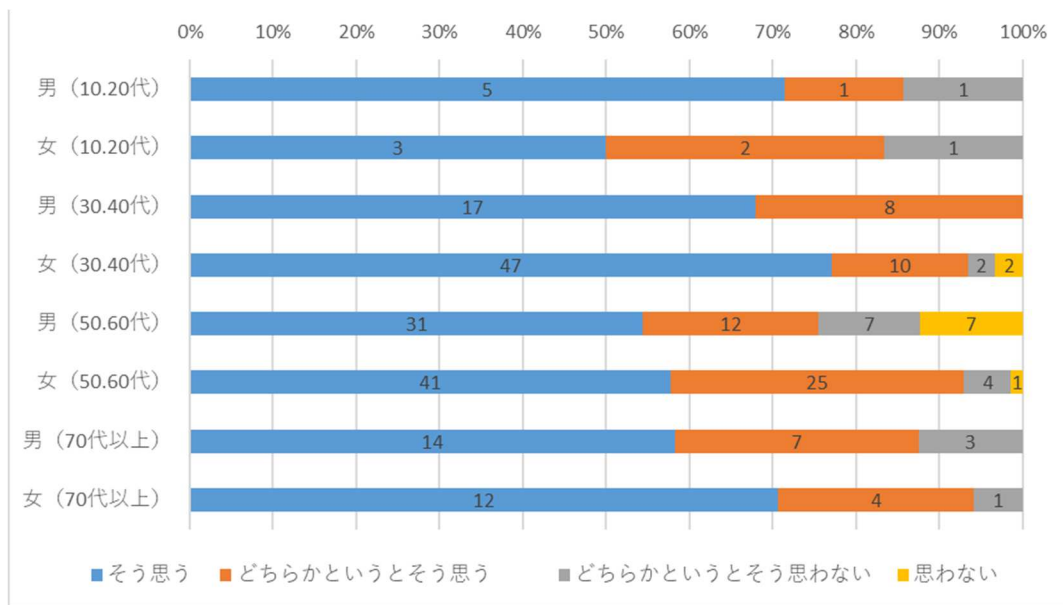


② 同一労働における男女間の賃金格差はあるべきではない

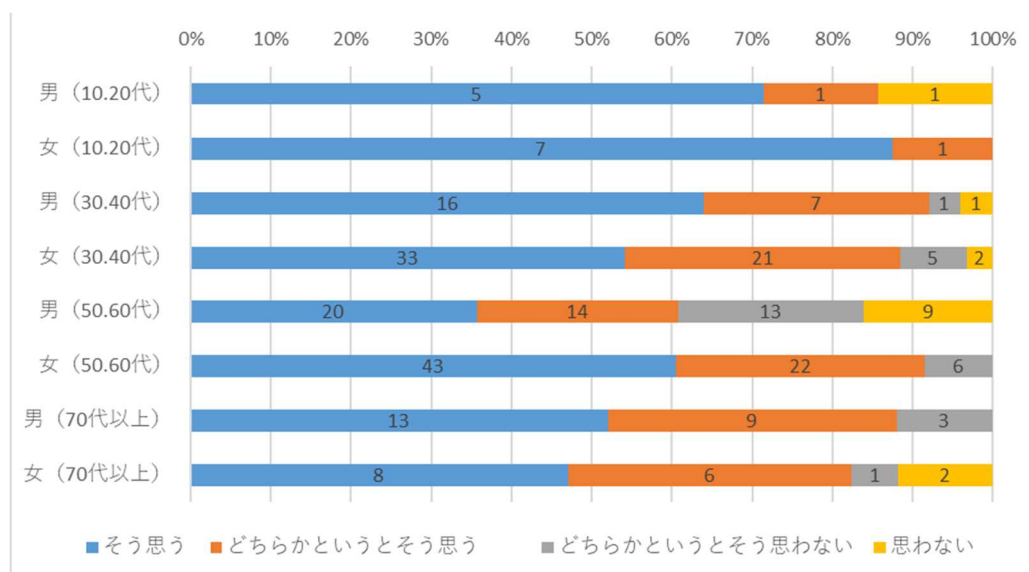
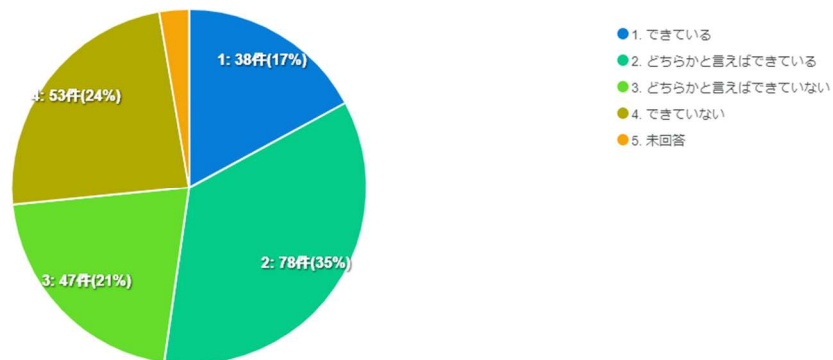


③ 管理職に男女の向き不向きはない

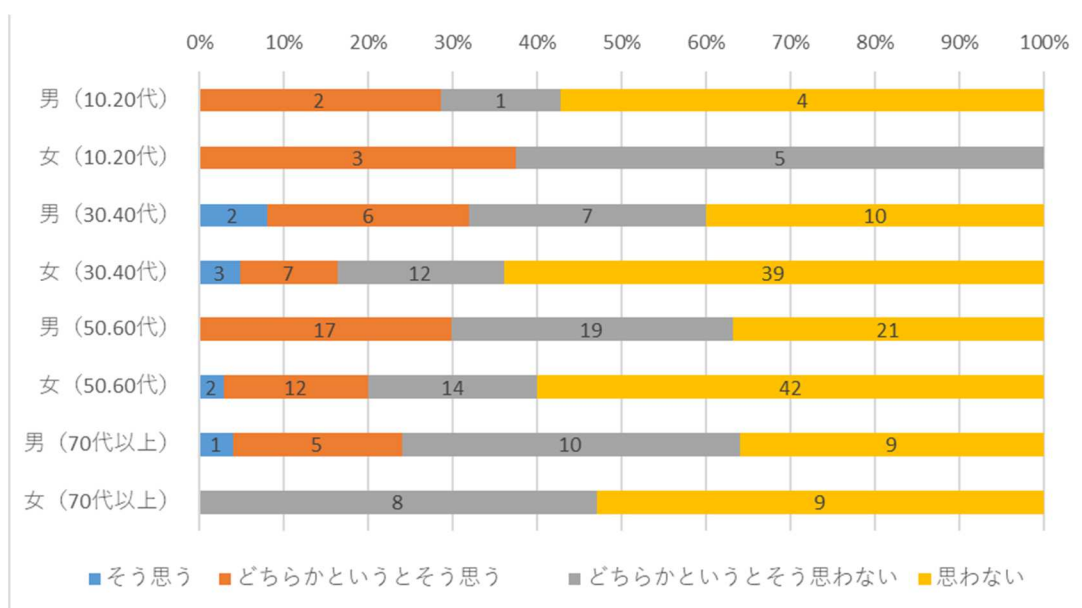
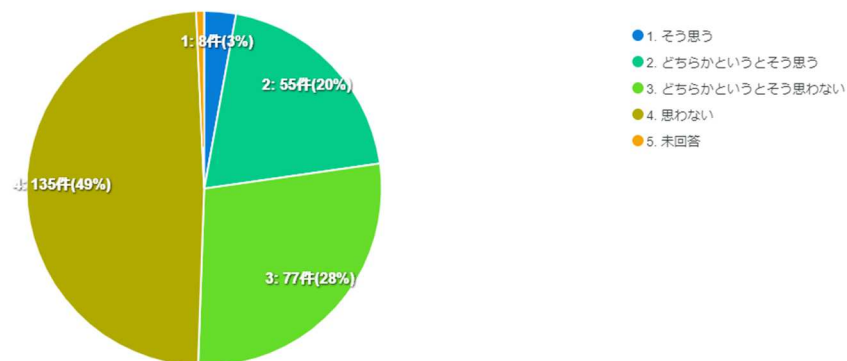




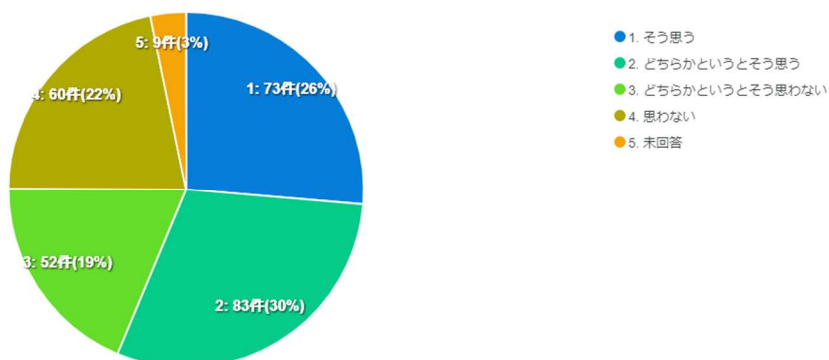
④ 職種や業務の選択において男女間の差はあるべきではない

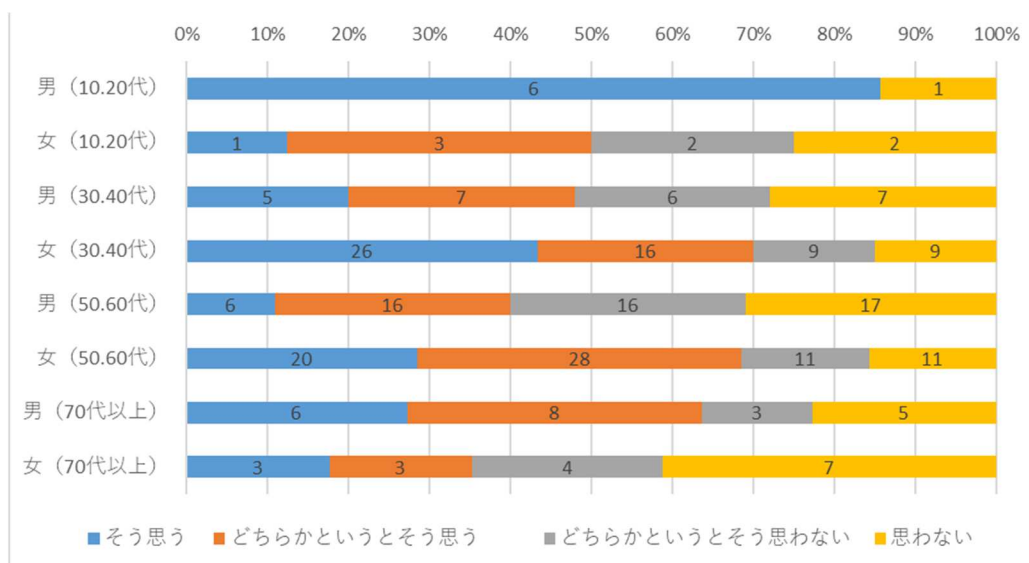


⑤ 女性は昇進したいと思っていない



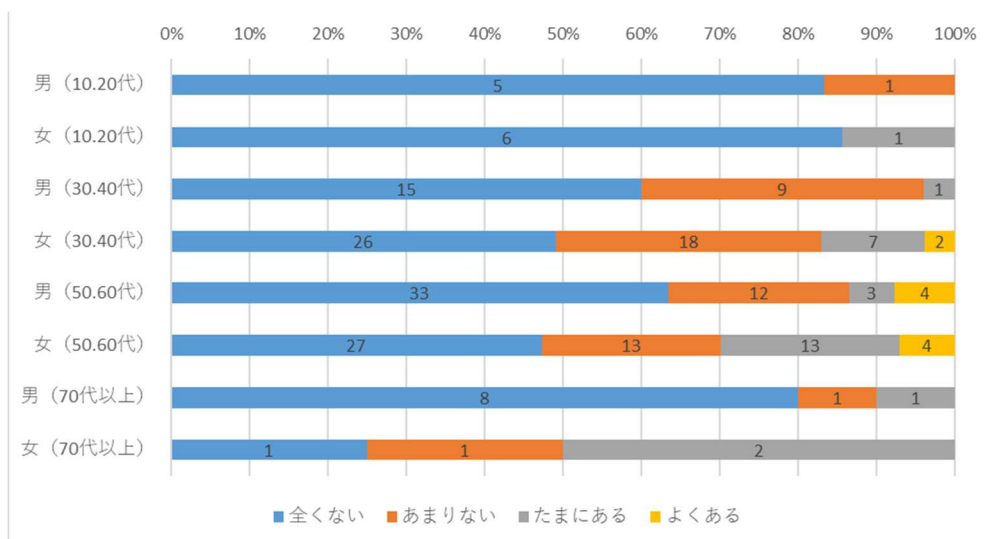
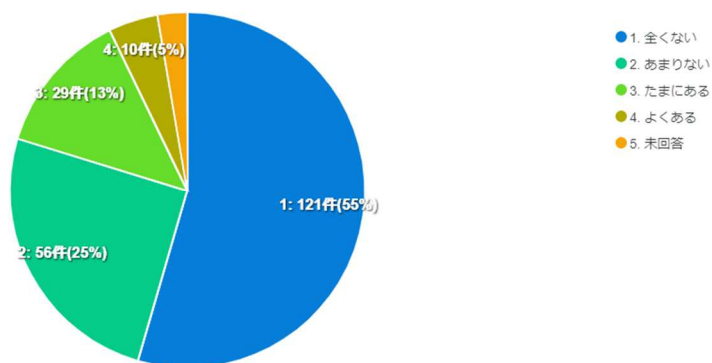
⑥ あなたは昇進したいと思っていますか。



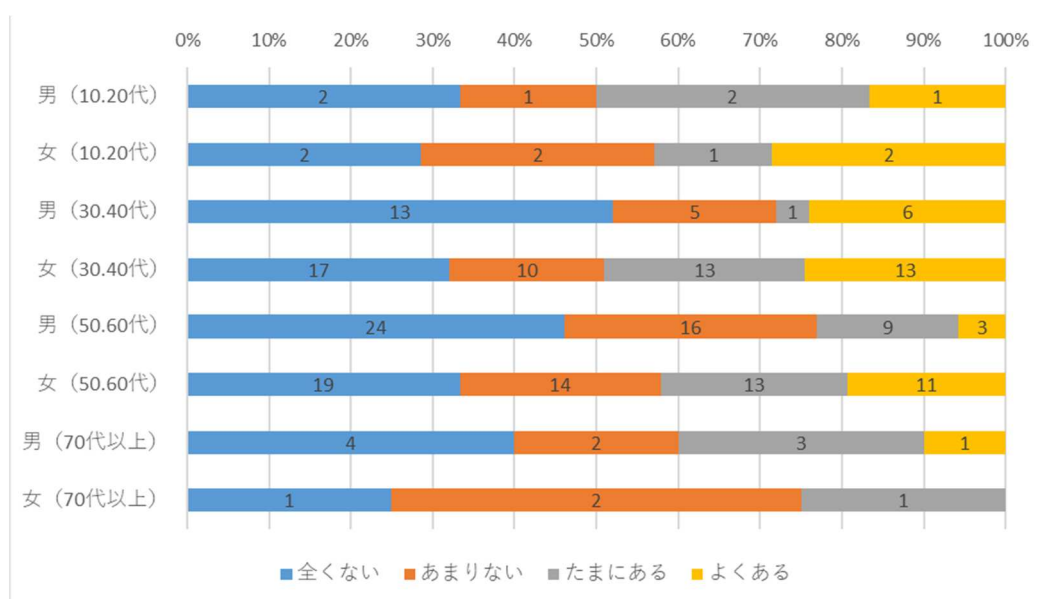
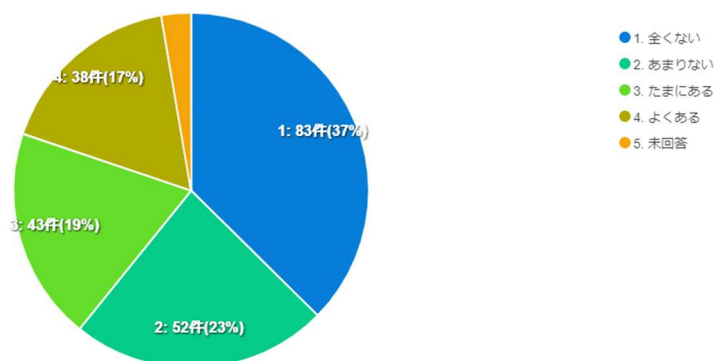


10 現在、お仕事をされている方にお伺いします。現在あなたの勤務先で、下記のようなことがあったり、感じたりしますか？最も当てはまるものを1つずつお選びください。

① 正社員は男性、女性は非正規社員という考え方

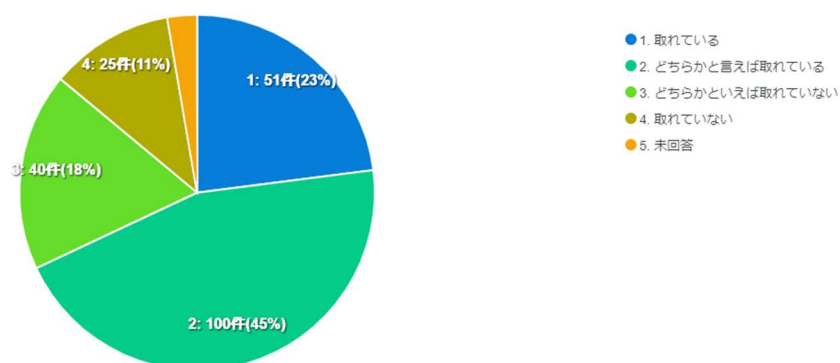


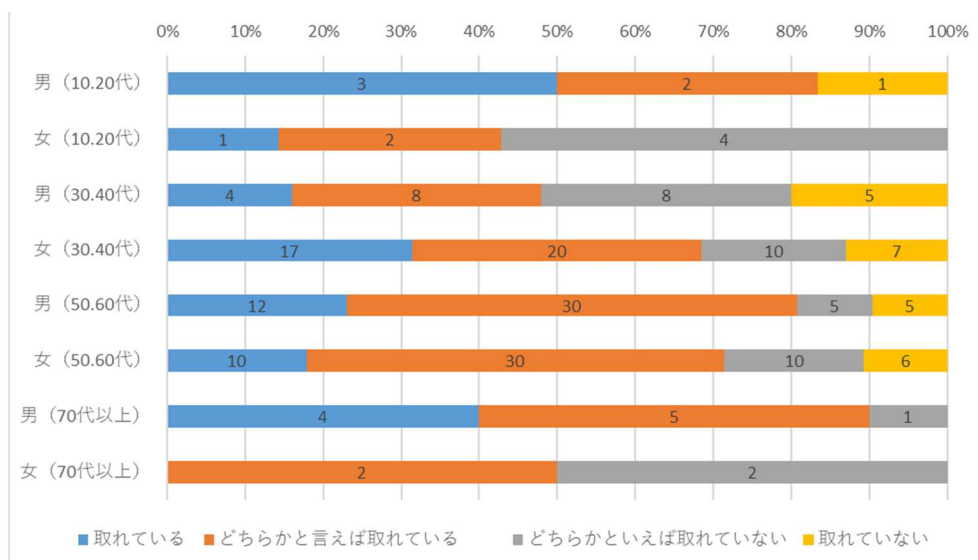
② 職場でのお茶出しや事務などのサポート業務は女性の仕事という考え方



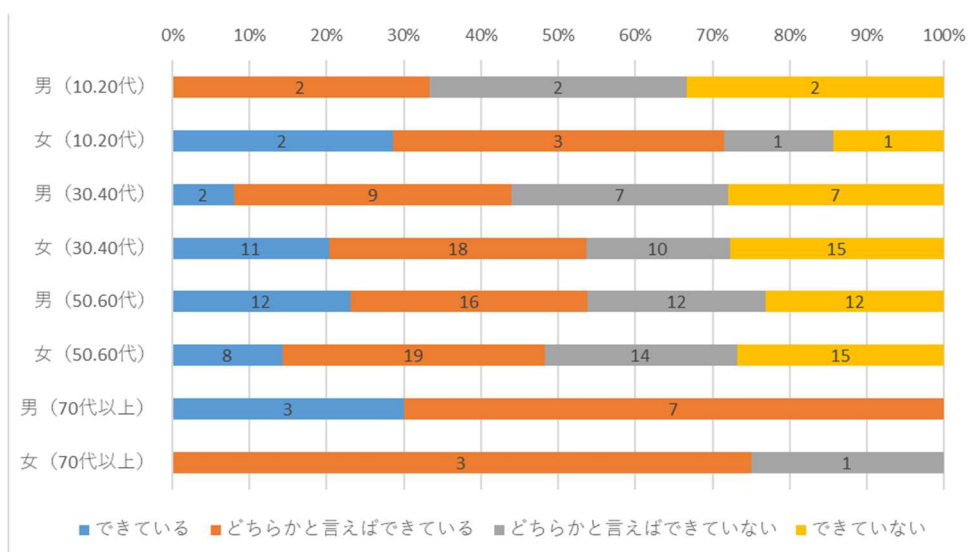
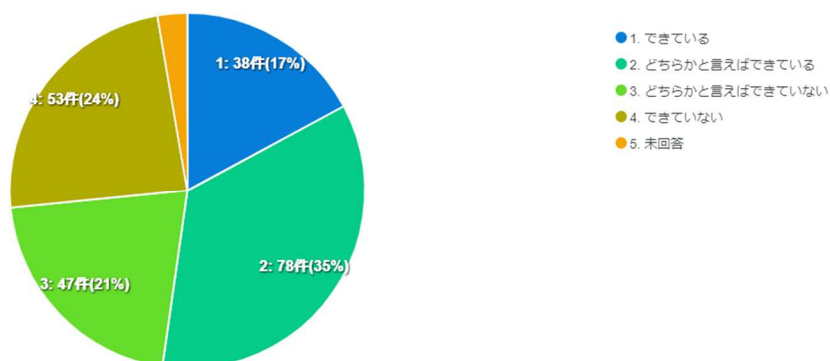
11 現在、お仕事をされている方にお伺いします。あなたの現在の仕事について、下記の項目に当てはまるものを1つずつお選びください。

① ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）が取れているか

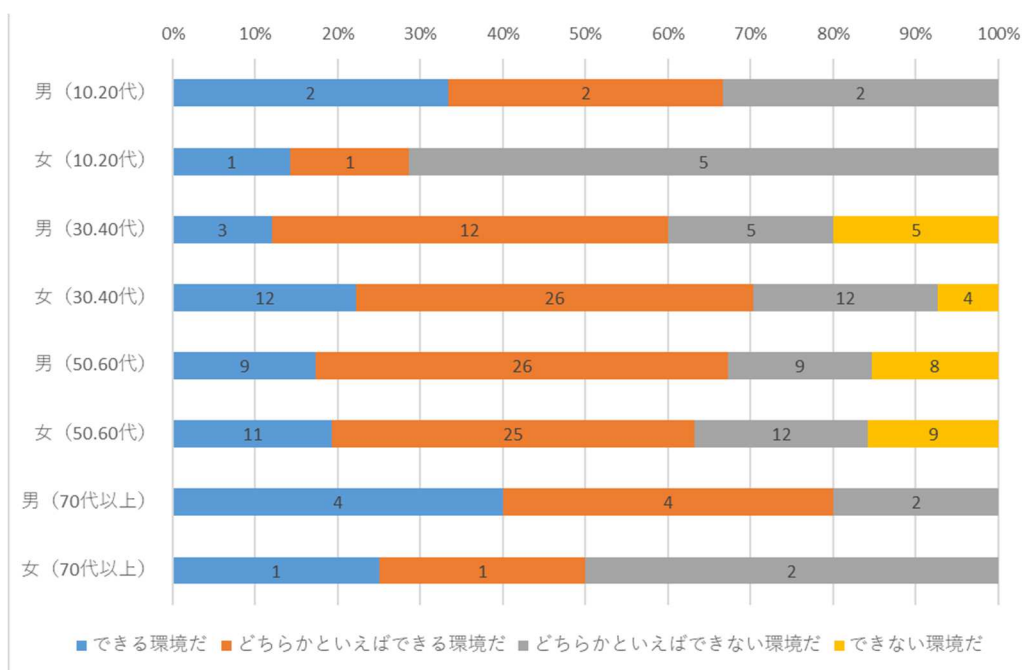
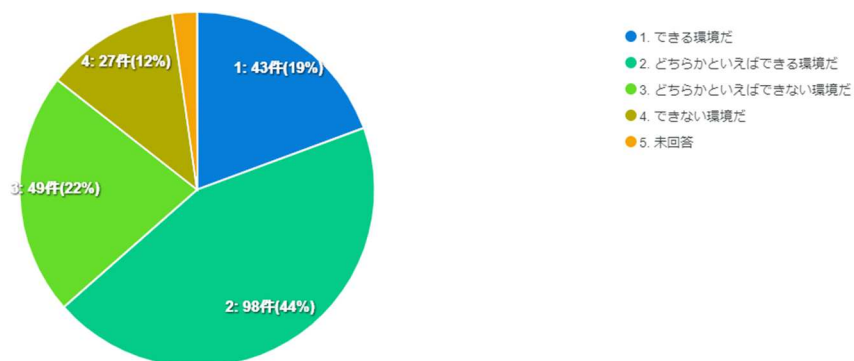




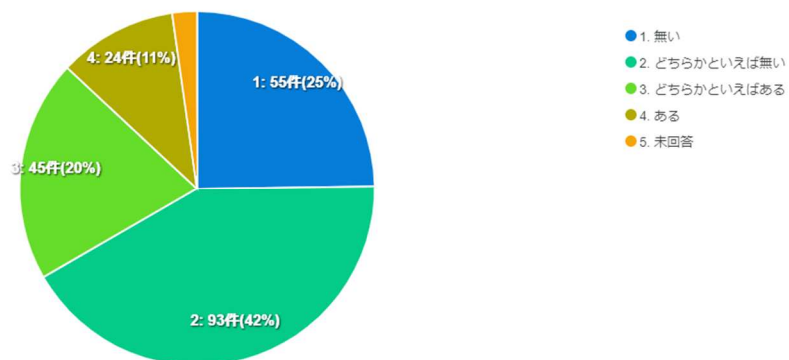
② テレワークやフレックスタイム制・時間単位での有給休暇など、柔軟な働き方ができているか

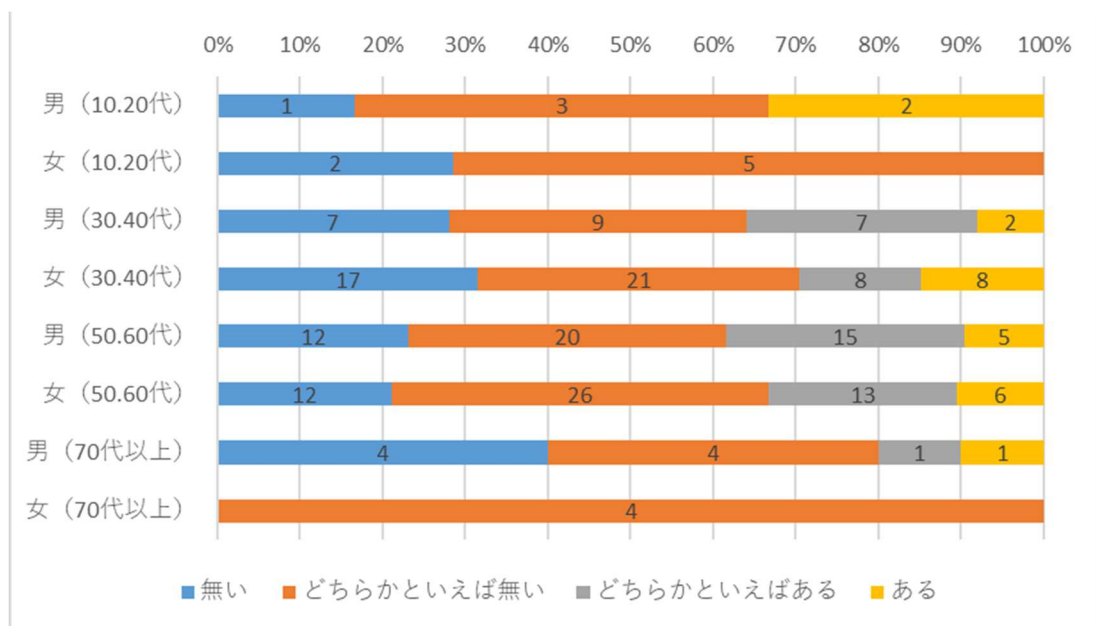


③ 仕事と育児・介護などを両立できる環境か

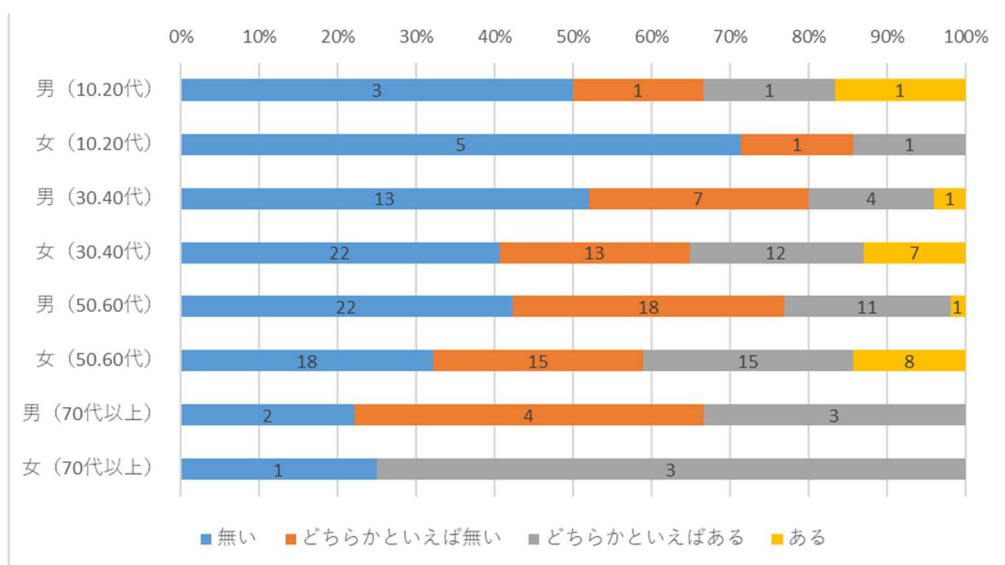
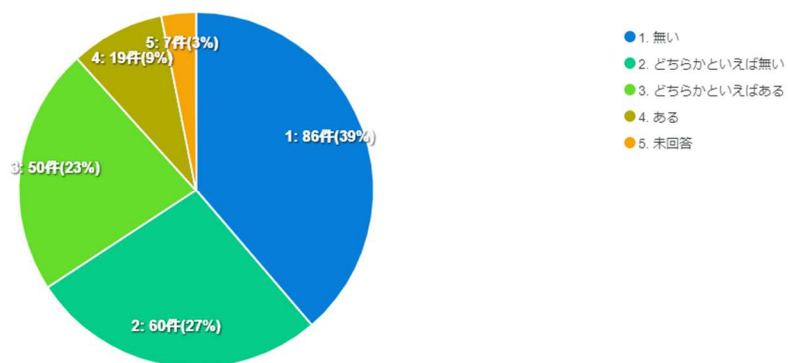


④ 仕事内容について、男女の差異がないか



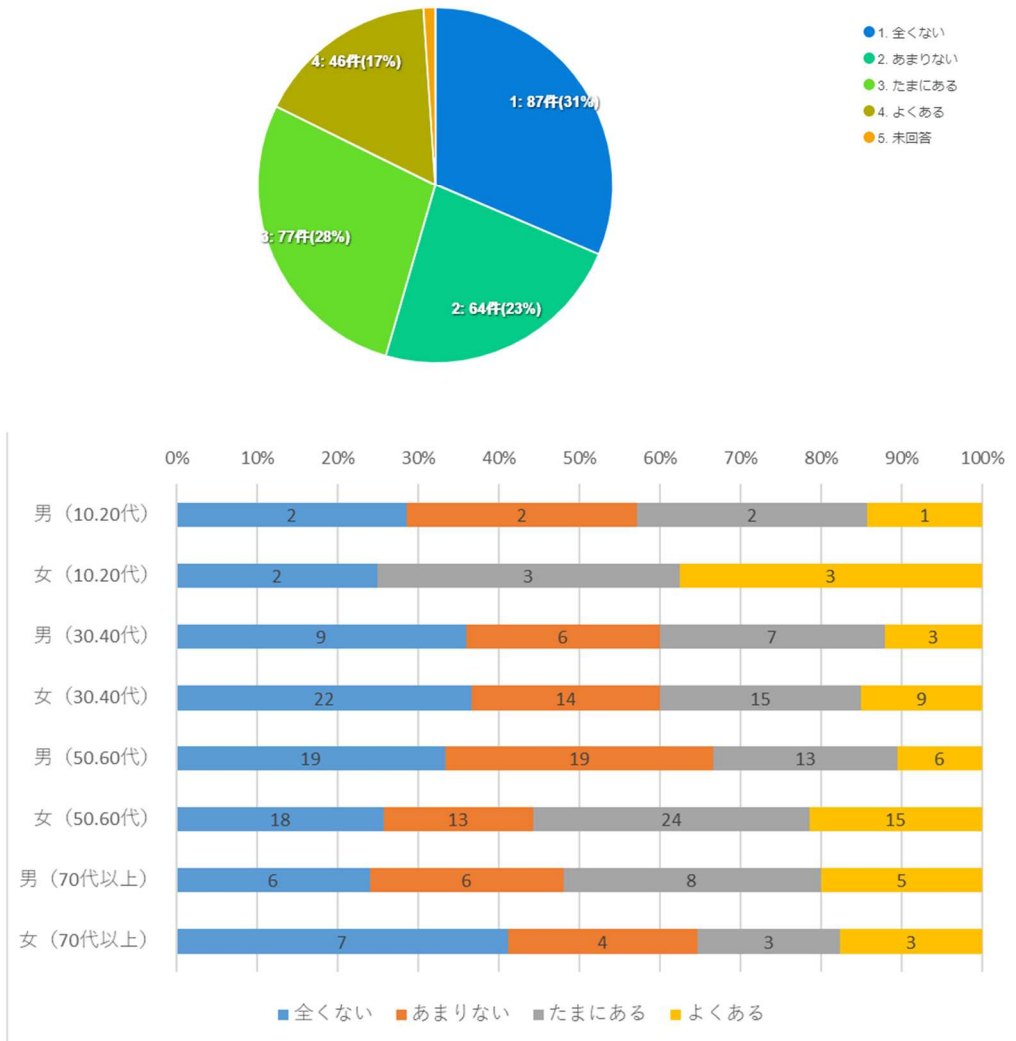


⑤ 昇進や給与などについて、男女の差異がないか

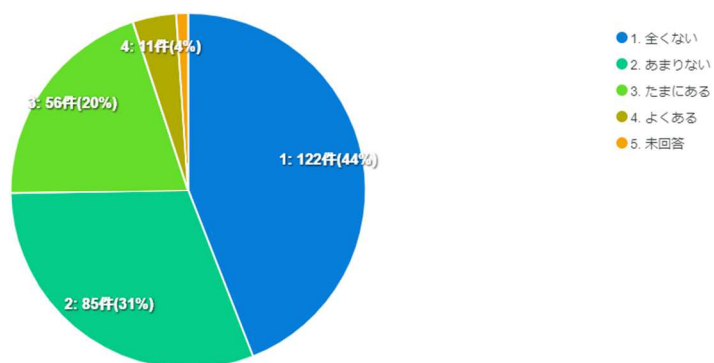


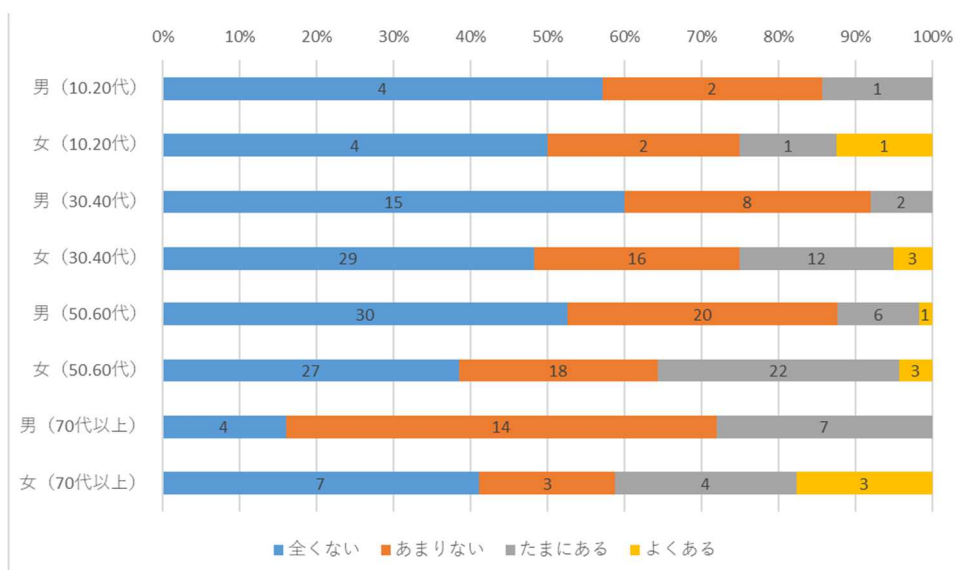
12 現在、あなたの家庭生活において、下記のようなことがあったり、感じたりしますか？最も当てはまるものを1つずつお選びください。

① 子供が生まれたら、女性は仕事を控えめにした方がよい

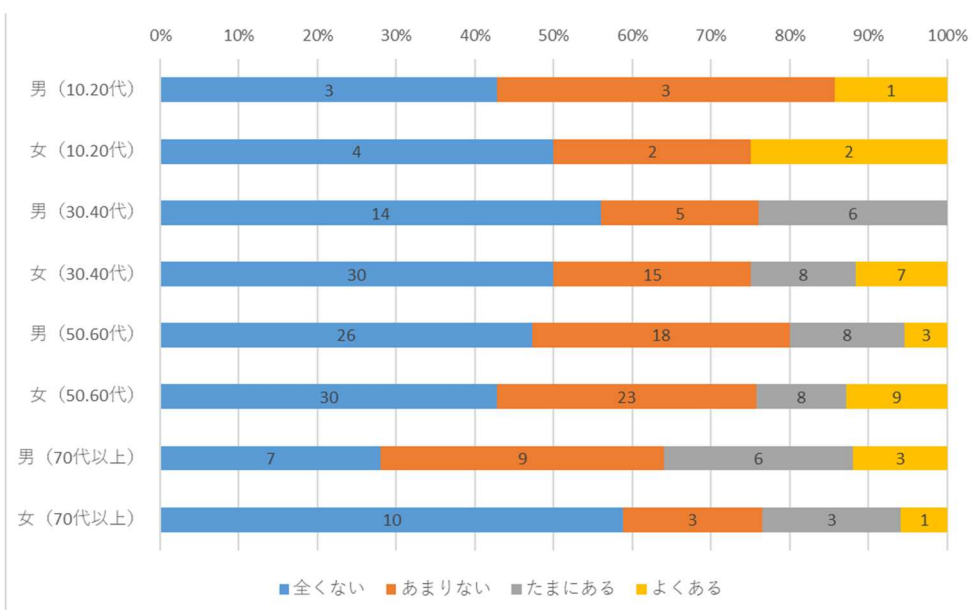
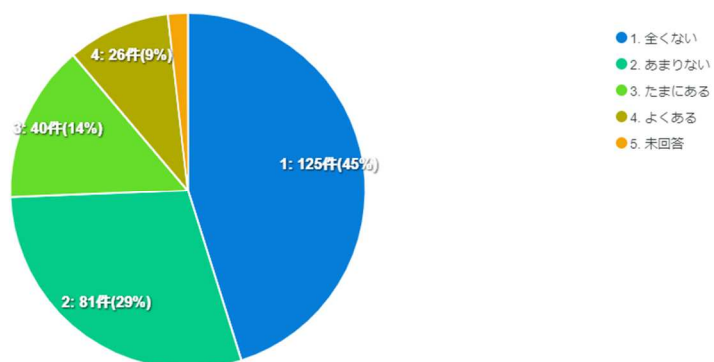


② 男性が前に立って、女性は後ろで支えるべき

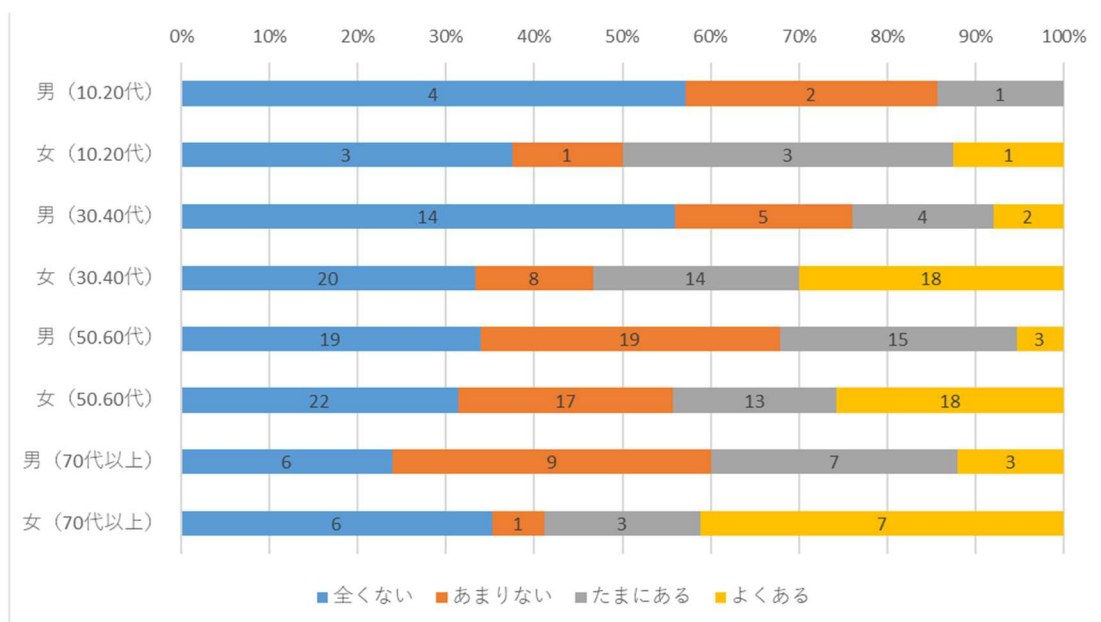
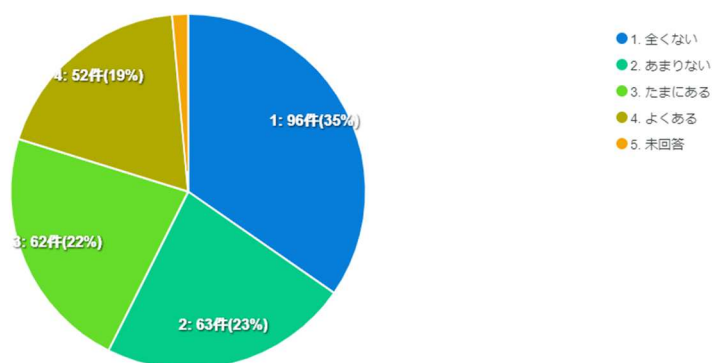




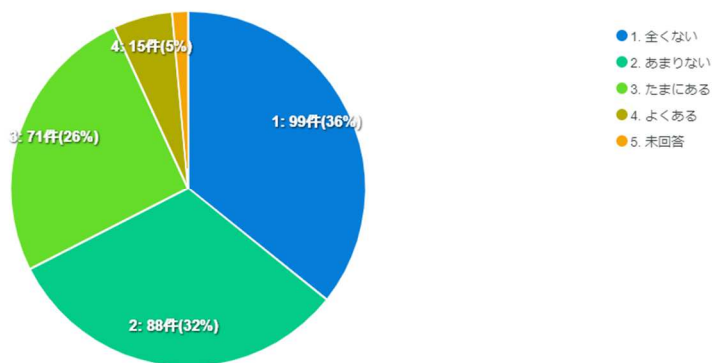
③ 家を継ぐのは男性がよい

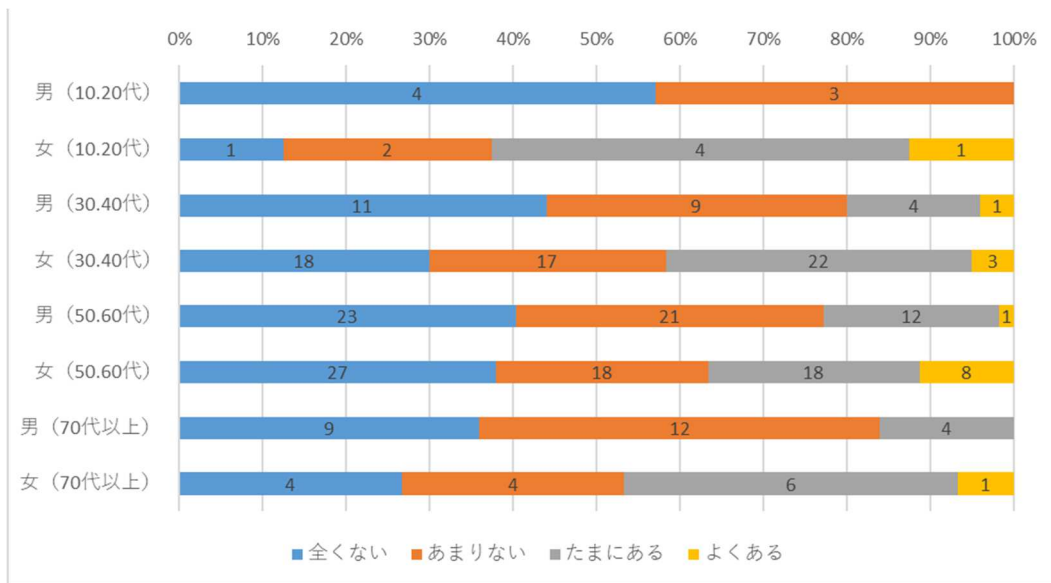


④ 家事・育児・介護は女性の仕事

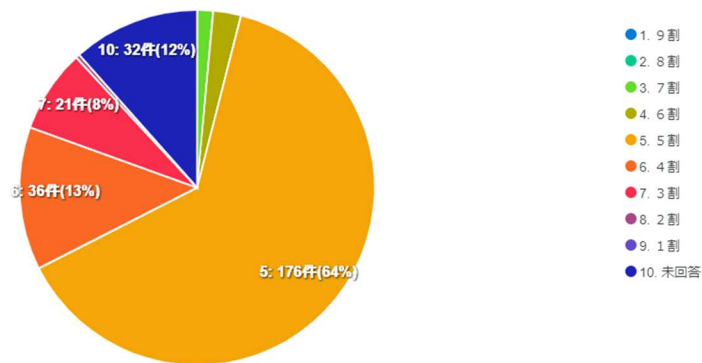


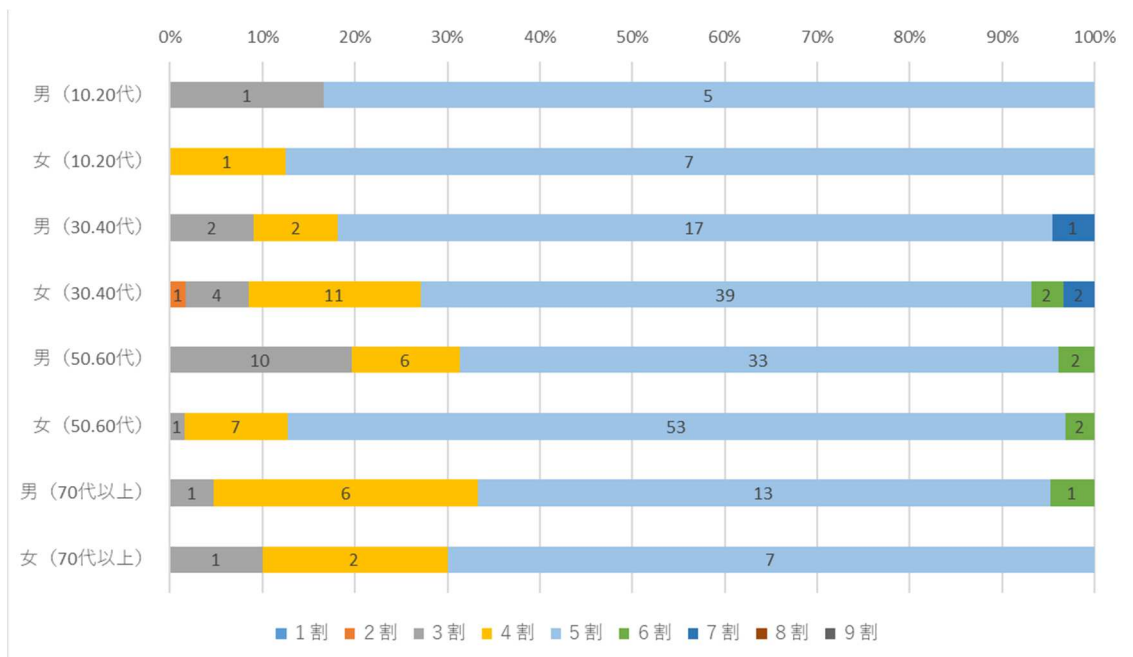
⑤ 人の価値観よりも世間体が大事





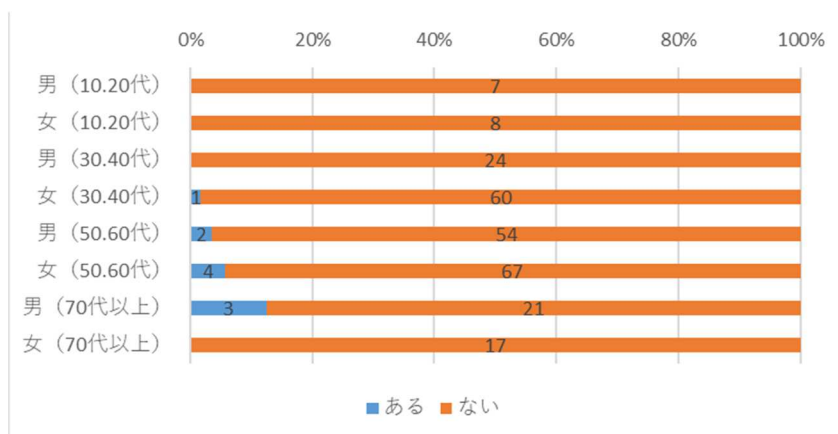
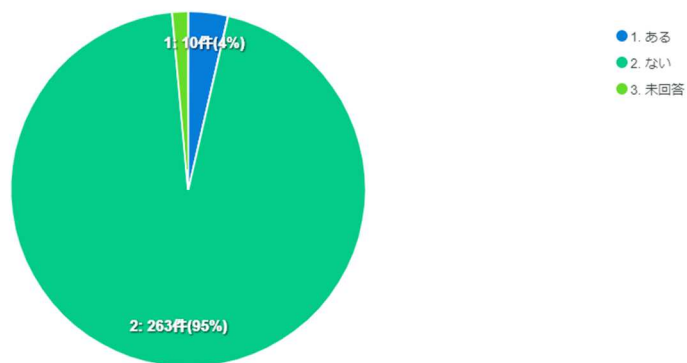
13 芽室町の審議会委員の女性割合は約 30%です。女性委員はどのくらい割合が良いと思いますか？あなたの考えに最も当てはまるものを 1 つお選びください。



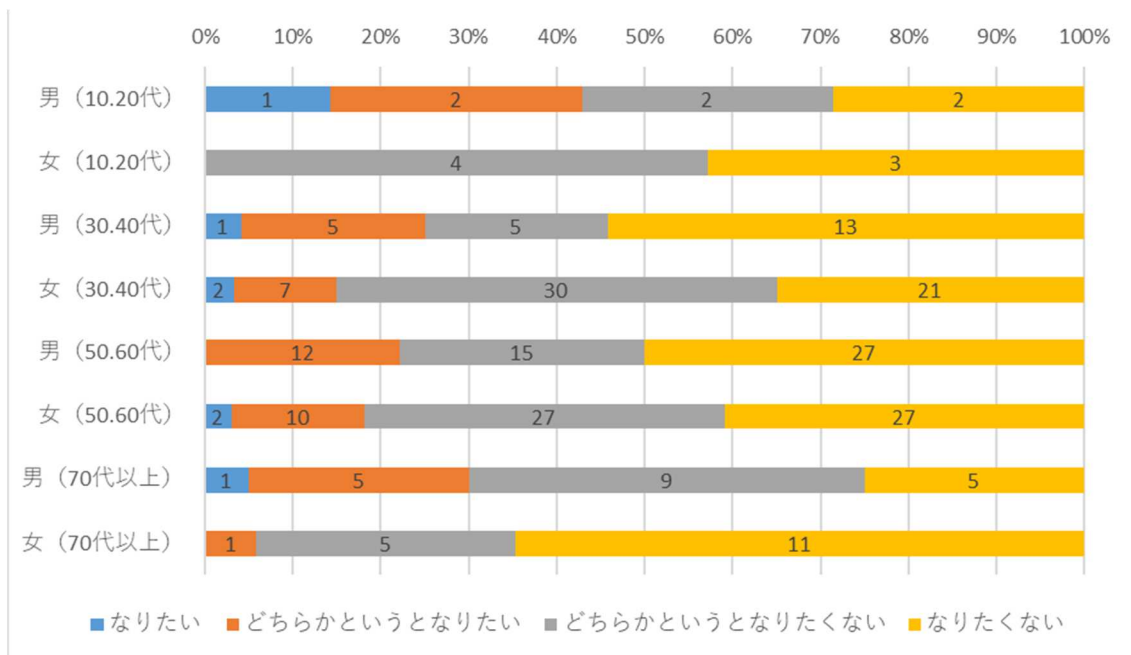
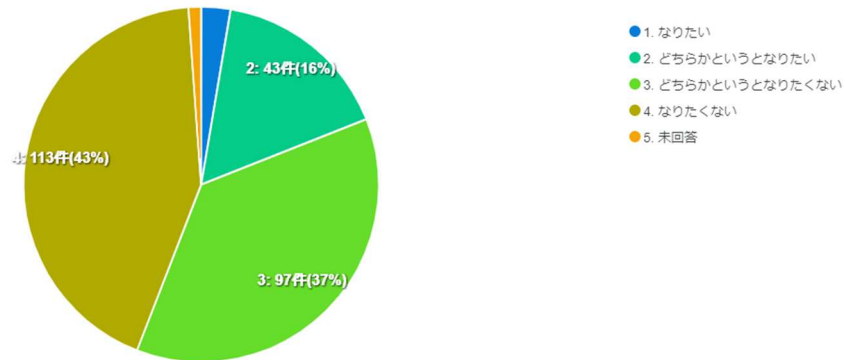


14 芽室町の審議会委員についてお聞きます。

① あなたは芽室町の審議会委員を経験したことがありますか？



②①で「ない」を選択した方にお聞きします。あなたは審議会委員になりたいと思いますか？



③ ②で選択した理由を教えてください。(自由記載)

なりたい、どちらかというとなりたい 理由 (27 件)

- ・経験してみたい 4
- ・やってみた方が芽室町をより知って、より好きになれる気がするから。 1
- ・自分の思いを具現化してみたい。 1
- ・町政やまちづくりに興味があるから。 1
- ・自分の住む町のことやここに住む人々の意見や考えを知ってみたい。 1
- ・今まで多方面からの見解を見てきました。事実の見解について少しみてみたいと思ったから。 1

- ・求められれば参加しますが、知識と資質が備わっているかは不明。 2
- ・役に立ちたい気持ちはあるが、役割がよく分からない。 3
- ・参加は重要なことだと思う。 1
- ・時間が合えばやってみたい。 1
- ・町のためになるのであればやってみたい。 1
- ・今後、定年で時間ができるから。 1
- ・芽室のことまだまだ分からないから。 1
- ・意見の場があれば良いと思い。 1
- ・地域貢献を模索中。 1
- ・もっと広い視野で発展したい。 1
- ・現状打破のため。 1
- ・新しい事をどんどん取り入れると良いと思うため。 1
- ・男性側の考え、意見を取り入れてばかりであると、この先真っ暗だと思う。
もっと産休、育休、介護休など全ての労働者が心にゆとりを持てる町になってほしい。 1
- ・幅広い年代の委員を選び、様々な意見の出る環境を作りより良くするため。 1
- ・肩書き・役職のつく仕事は男性のものという価値観が無意識に存在していると思うため、それを変えたいから。 1

どちらかというとなりたくない、なりたくない理由（109件）

- ・時間がない（仕事・家庭） 46
- ・体調が安定しない。 1
- ・高齢のため。 3
- ・活動内容や役割がわからない。 25
- ・自分には難しいと思う（スキルがない、務まらない、勉強不足、発言が苦手） 10
- ・議論する立場にはなりたくない。 2
- ・芽室町に馴染みがない／移住して日が浅い。 4
- ・面倒／興味がない／やりたい人がやればいい。 11
- ・どうせ女性の意見、特に有識者や専門職等ではない意見は通らない。 1
- ・委員が機能していない。 1
- ・適材適所でいい（性別割合にこだわるべきではない） 3
- ・入り口が平等なら結果の男女比は問うべきではない。 1
- ・町にとってベストな人材を選ぶべき。 1

その他意見

- ・ 各種委員さんの女性率が男女共同なのか？ 3
 - 1、入り口が平等であれば、あとは手を挙げるだけで、結果として「女性が少ない＝男女共同ではない」というものではないと思う。
 - 2、男性女性関係なく適任者がなれば良いと思います。
 - 3、性別ではなく、意欲があるかどうかでは？
- ・ 女性の意見も尊重されるべきですが、審議会では、相応の知識や経験のもと、しっかりした根拠をもって発言することが必要だと考える
- ・ 仕事や委員会等で割合を論じること事態が不適切。町にとってベストな人材を集めるべきで、最小の経費で最高の仕事をする。割合に拘るとろくな事にならない。共同は均等ではない。
- ・ どの人も向き不向きがあり、適材適所があり、やれる人がやる。それだけだと考える。
- ・ 政治を「他人事」と感じさせないよう、幼少期から男女問わず政治が身近な存在であるという意識や空気感を育む教育が必要。女性政治家を魅力的なキャリアとしてアピールし、若い世代の関心を高めるべき。政治が自分たちの生活課題を解決できるという実感を持てるよう、具体的なメリットを提示し続ける過渡期が必要。最終的には男女の社会的負担（労働・介護・育児）の差をなくし、「女性向け」といった区分が不要な、性別によらない社会を実現すべき。